

1 ポイント（特に工夫した項目に○ いくつでも）

作成者：花岡 賢 (高等部)

 教材教具の工夫

1 実態に合っているか？	○
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	◎
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	×

2 児童生徒の実態



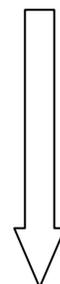
- ・機械、食べ物、などに強い興味を示す。全般的に好奇心が旺盛である。
- ・自分の欲求が抑えきれず、突発的な行動に出ることがある。
- ・過去に経験した、楽しい活動や危険な体験などを記憶して、学習や生活の中に生かすことができる。
- ・教師を意識して自分のできないことを依頼したり、教師の行動をまねようとする事ができる。
- ・筆記具を保持したり、操作したりすることができ、書くために十分な筆圧がある。
- ・殴り書きができる。紙の白い部分を意識して塗りつぶすことができる。

3 教材教具のねらい

- ・ 興味関心を生かしたい。
- ・ 安全が確保できるならば、(本来の使用法以外でも) 使用する経験を積む中で、安全な操作を学んでほしい。
- ・ 書くことに興味を持ってほしい。
- ・ 色の組み合わせることの楽しさに気づいてほしい。

4 改善の経緯

- (1) 4月頃の児童生徒の様子（書く、描くことに対する実態）
- ・ 興味のある機械、道具などは危険を感じることなく、スイッチを入れたり、さわったりする。
  - ・ 紙とペンを渡すと殴り書きを行うが、色や形を意識してはいない。
  - ・ ある程度の範囲を塗ると、「終わり。」とペンを置く。楽しんでいる様子が見られない。
- (2) 5月の状況（教材への取り組みの様子）
- ・ 教室に置いた電動ろくろのスイッチを探したり、回したり興味を示す。
  - ・ 教師に促されずに色を選択し、笑顔で紙にペンを押し当てていた。
  - ・ 大きく模様を付けたり、小さくつけたりと自分で完成を意識し、自分から終わることができた。
- (2) 12月現在の生徒の様子。
- ・ 単色での塗りつぶしを好む。(落ち着く)
  - ・ 促すと色を混ぜ合わせることもする。
  - ・ 教師が文字を書くのをまね、ノートの罫線に沿って鎖のようなものを書くことができる。
  - ・ 絵の具などで大きく制限なく、塗ることを楽しんでいる様子が見られる。
  - ・ 教師が準備する教材に興味を持って確認に来ることが多い。



改善のポイント

- ・ 電動ろくろを使用することで興味関心を高めることができた。
- ・ 筆を置くという最小限の活動で、予想外の効果が表れたことで、驚きと楽しさを味わうことができた。
- ・ 色を塗る、書くという活動への興味関心が広がった。

今後の改善や使用について

- ・ ろくろで模様を付ける活動は現在行っていないが、他の描いたり書いたりする活動の経験を積む中で、色を組み合わせたり、絵の具とクレヨンなどの画材を組み合わせることを楽しむことができています。ドリッピングやマーブリングなど様々な画法を楽しむ準備ができたと思う。

